

L'ORÉAL

Research & Innovation

日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンターを25%拡充、3部門を新たに開設

～ ロレアルグループのグローバル戦略実現に向け、アジアの中核拠点となる日本の研究開発を加速 ～

<報道資料>

2012年1月25日

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ(本社:パリ)の日本法人である日本ロレアル株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:クラウス・ファスベンダー)は、R&I(リサーチ&イノベーション)センターを延床面積と研究者数ともに約25%拡充し、新たに下記の3部門を開設しました。ロレアルグループがグローバルに展開する18カ所のR&Iネットワークにおいて、アジアで唯一基礎、応用、開発、評価のすべての研究段階を備える研究拠点である日本のR&Iセンターは、この拡充により、アジアにおける研究開発の中心的な役割を担うこととなります。

<新設部門の名称と役割>

- ◆ **アジアオープン・リサーチ:** アジア全域から、生物学、医学、環境などの先端技術や、医薬品、食品、繊維、印刷、エレクトロニクスなどの異業種の技術を導入
- ◆ **コスメ応用研究室:** アジアオープン・リサーチなどで導入した技術を、アジアでニーズの高い美白やアンチエイジングなどの多機能化粧品に応用
- ◆ **コンシューマー&マーケット インサイト:** 脳科学、生理学、心理学などの手法や新規のデータ解析法による多面的アプローチによって、消費者の美容習慣や購買動機、市場の潜在的ニーズを把握し、アジアの製品開発に活用

日本発の技術をアジア、そしてグローバルへ

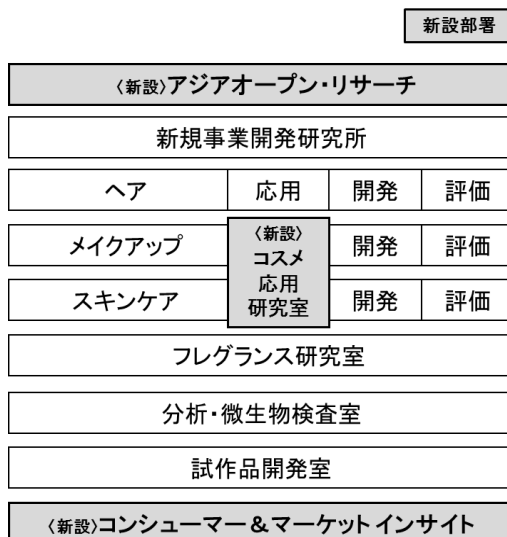
ロレアルグループは、今後10年から15年で10億人の新客を獲得するグローバル戦略を掲げており、その実現において不可欠となるアジア市場の拡大に向け、アジア全体の研究開発を強化します。同戦略の下、この度、日本のR&Iセンターの拡充を図り、今後はアジアの研究開発の中核拠点として、日本の優れた原料や技術、製品コンセプトなどを活用し、日本市場をはじめ、アジア各国の市場ニーズに合致した製品開発を行います。

特に日本の粉体技術を導入したパウダー・ファンデーションや、日本の消費者の高い美意識と美容習慣に合わせて開発され、アジアで高い支持を得ている化粧水、乳液をはじめ、日本が先行している美白やアンチエイジング分野の実績を活かした製品開発に注力していきます。さらに、ロレアルの強みであるR&Iのグローバルネットワークを利用した、日本との共同プロジェクトにおいても、これまで以上に幅広い研究成果を提供することが可能となります。

長期的視野に立った日本への投資

世界規模で事業を行うロレアルグループにとって、日本は世界第二位の化粧品市場であり、世界最大のスキンケア市場を持つ重要な国として位置づけられてきました。1983年にアジアの中で最初に日本に研究所を設置して以来継続的に拡充を行い、さらに2011年までの7年間で、投資を70%増額しています。また、今回の拡充に際して、日本の研究所を率いるトップに、ロレアルグループで初めての日本人所長となる井上美香が就任しました。1988年にロレアルに入社して以来、日本発のヒット製品を数多く手掛けてきた実績のもと、アジアや世界に向けたイノベーションの創出を一層、積極的に推し進めていきます。

組織図:



沿革:

- 1983年 日本に初の研究開発部門を東京・麻布台に開設
- 1990年 ヘアケア開発研究所を業務拡張のため、かながわサイエンスパーク内(KSP;川崎市・溝の口)に移転。スキンケア&メイクアップ開発研究所は東京で業務拡張
- 1996年 ヘアケア開発研究所とスキンケア&メイクアップ開発研究所を統合し、かながわサイエンスパーク内に、「日本ロレアル研究開発センター」を開設
- 2004年 新研究開発体制を導入し、フランス以外で初めて、基礎、応用、開発、評価の全研究段階を集約
- 2008年 創立 25 周年を迎える
- 2010年 日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンターに名称変更
- 2012年 アジアにおける研究開発の中核拠点として拡充。新たに 3 部門を開設し、延床面積と研究者数を約 25%増強。ロレアルグループ初の日本人所長が就任

ロレアルグループおよび日本ロレアル

ロレアルグループについて(www.loreal.com)

1909 年にパリで化学者ウージェンヌ・シュエレールによって設立され、世界 130 ヶ国・地域で事業を展開し、67,000 名の従業員を擁する世界最大の化粧品会社です。「ランコム」「シユウ ウエムラ」「キールズ」「イヴ・サンローラン」「ロレアル パリ」「メイベリン ニューヨーク」「ロレアル プロフェッショナル」など、23 の主要ブランドをグローバル規模で展開しています。

ロレアル リサーチ&イノベーションセンターについて (http://www.nihon-loreal.jp/corp/research_innovation/)

ロレアルは、約 100 年前の 1909 年に一人の科学者によって創設されました。以来、企業理念を「科学から生まれる革新の美」とし、研究開発から生み出されるイノベーションがビジネスの中心であると考え、連結売上上の 3%以上(2010 年度は 6.65 億円)を常に研究開発に投資しています。フランス、日本、アメリカ合衆国、中国など世界 18 カ所の研究センターでは、3,400 名以上もの研究者が次世代のイノベーションを目指し研究に励んでいます。また、創立当初から女性研究者を積極的に登用しており、研究者のうち 55%を女性が占めています。

日本ロレアルについて (www.nihon-loreal.jp/corp)

1963 年から事業を開始し、1996 年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2,500 名の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、上記のブランドを含め 18 のブランドを展開しています。また、ロレアルグループの戦略的拠点の一つとして、「日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター」(川崎市高津区)を置き、日本、アジア、グローバル向けの製品開発を行っています。200 名以上の研究者のうち、女性研究者は 63%を占めています。